

論評、移民、保険、妊婦健診、適用範囲、歴史的課題 1

不法滞在の女性に公的補助による妊婦健診を受けさせるべきか否かという点に議論が持ち上がっている。移民の多い地域の第一線のケア提供者として助産師と女性保健の専門家も自らの声をあげる必要がある。不法入国の女性とはアメリカの市民権を有さず、また、移民証明書を有していない女性である。不法入国の女性の多くは妊娠したとしても無保険の状態であるが、アメリカで誕生する児は市民となり給付が受けられる。アメリカにおける移民の権利と妊婦健診に関わる論争は国家反移民法が成立した 1800 年代に表面化した。脆弱な移民、特に女性たちは強制送還の恐れがあるとし、生活保護の給付の申請を躊躇した。

2002 年、違法移民の妊婦の健診のための連邦の補助を州が受けることができるようになったが問題も多かった。2009 年、Obama 大統領が妊婦とその児のケアに連邦の補助金を活用する権利を州に与えたが不法滞在の女性は除外されたままであった。2010 年のヘルスケアの改革はヘルスケアを改善するきっかけとなった違法移民は排除されている。移民が地域の負担となっているという主張は排外主義や国家主義などの思想を生み出すことになっている。合法的移民も不法移民も自分たちに受給資格がなくても納税していることを多くのアメリカ市民は忘れていている。アメリカ認定看護助産師学会の倫理規約では助産師はリソースの平等な配分と質のよいヘルスケアへのアクセスを促すと記されている。法的状態に関わらずすべての女性が良質なケアプログラムにアクセスする機会が与えられるべきである

Choosing Our Words and Futures Wisely: Political Rhetoric and Prenatal Care Policy for Inclusion of Women With Undocumented Status

Rebecca Bixby

J Midwifery Women's Health. 2011 Mar-Apr;56(2):91-93

妊娠、歯科医療、妊婦健診、予防医学 4

歯の健康は妊婦の身体のすべての健康を守るためには不可欠なものである。妊娠の際に歯の治療を遅らせることになってはならない。歯周病が妊娠の結果に及ぼすネガティブな影響については幾つかの研究によって明らかにされている。妊婦の歯周病を治療することによって早産にどのような影響を及ぼすかということに関しては必ずしも一致した見解は得られていないが、妊娠中に歯周病の治療を行うことの安全性は証明されている。歯の健康状態が不良な妊婦は唾液を介して、児に歯を腐食する病原体である連鎖球菌ミュータンスを伝播させ、早期に児がキャリアとなるリスクを高めることになる。

歯周病の予防サービスや早期治療が奨励されており、歯周病を有する妊婦の不安を取り除くためには口腔衛生の専門家に妊婦を紹介しなければならない。歯科 X 線写真は適切なシールドを使用することによって安全に実施することができる。安心感を得るために、また、児の健康を守るために妊娠 14 ~ 20 週の間には歯の治療が行われることが望ましい。

ほとんどの妊婦に歯の治療を求めているが、歯科医が妊婦を治療できるように専門家間のコミュニケーションを促すことができれば、歯の治療を受けない女性の数を減らすことができるのではないと思われる。歯科を受診すればメディケイド（低所得者層の公的健康保険）によって妊娠中と産褥 2 か月の間に歯の治療を受けることができる。女性保健に関わるケア提供者は口腔衛生の重要性を認識し患者を教育する必要がある。

Referrals for Dental Care During Pregnancy

Megan K. Kloetzel, Colleen E. Huebner, Peter Milgrom

J Midwifery Women's Health. 2011 Mar-Apr;56(2):110-117

会陰切開、会陰裂傷、会陰損傷、冷却療法、疼痛緩和、周産期管理、産褥期 14

自然経膈分娩後に 20 分間にわたるアイスパックを試みる事が会陰痛の緩和にどの程度有用であるか検討した。ブラジルサンパウロの分娩センターで 114 名の未産婦をそれぞれ 38 名ずつ 3 群に分け、1 群実験群はアイスパックを使用した群、2 群プラセボ群は温度を一定にした水を含むパックを用いた群、3 群コントロール群は無処置のものとした。0 ~ 10 のスケールで疼痛の評価を行った。

開始時の平均の疼痛のレベルと 20 分後のレベルを比較したところ、いずれの群においても有意な疼痛の低下が認められた。20 分後の疼痛のスコアは実験群において 1.6 とコントロール群における 3.3 を有意に下回った。アイスパックを 20 分間使用することは経膈分娩後の会陰の疼痛を緩和する上で有用であると考えられる。

Perineal Analgesia With an Ice Pack After Spontaneous Vaginal Birth: A Randomized Controlled Trial

Lucila Coca Leventhal, Sonia Maria Junqueira Vasconcellos de Oliveira, Moacyr Roberto Cuce Nobre, Flora Maria Barbosa da Silva

J Midwifery Women's Health. 2011 Mar-Apr;56(2):141-146

論説、胎児心拍モニタリング、臨床的意義21

スクリーニングとしての胎児心拍モニタリングは不成功に終わったとする論評が掲載された。胎児心拍モニタリングは児に長期的な利益をもたらさず手術的経産分娩と帝王切開の上昇をもたらした。胎児心拍モニタリングは今や文化現象であり、有効な医学的スクリーニングとみなすことはできない。臨床的に有用か否かにかかわらず分娩時の臨床記録の基本的な方法となっているが、胎児心拍モニタリングはそれを作り出したがために、購入するに至った悲劇的な例である

Electronic Fetal Monitoring Revisited

Nancy K. Lowe, Editor

J Obstet Gynecol Neonatal Nurs. 2011 Mar/Apr;40(2):139

産褥期、入院期間、早期退院、母児の臨床結果、歴史的背景22

この論文はアメリカで試みられている早期退院の歴史的経過と母児の入院期間に関する論争に焦点を当てたものである。母児の健康に早期退院がどのような影響を与えるかという点に関し、確かな根拠は示されていない。今までの研究結果から退院から1週間の間の母児の監視とケアが広く支持されている。母児を適切な状態に維持するための監視とケアに関わる要因、ケアを提供するタイミングなどに関する研究が求められている。

Early Hospital Discharge in Maternal and Newborn Care

Anne M. Fink

J Obstet Gynecol Neonatal Nurs. 2011 Mar/Apr;40(2):149-156

メディア、思春期保健、性的活動、暴力30

メディアは思春期の人々の生活で重要な役割を果たしており、教育と社会化の機会を提供している。メディアの内容は思春期の発達過程において大きな影響力をもたらし、暴力や性的な問題を伝える媒体として若い人たちの中に浸透している。患者教育を提供することは看護師の実践の基礎の一つとなっており、看護師はメディアの性に関する内容や暴力に関わる内容に関して、若年者の教育と親の教育に影響を及ぼす立場にある。

Media and Technology in Adolescent Sexual Education and Safety

Allyssa L. Harris

J Obstet Gynecol Neonatal Nurs. 2011 Mar/Apr;40(2):235-242